

老化の元凶“糖化”とは

森ノ宮医療大学大学院保健医療学研究科講師／森ノ宮医療学園専門学校柔道整復学科教員 **森 美侑紀**

近年、老化や生活習慣病の要因として、活性酸素やフリーラジカルによる「酸化ストレス」と並んで、カラダをコゲつかせる「糖化」反応が、その促進因子として注目されています。

タンパク質と糖質が結びつき加熱される事で変性や劣化がおこり、AGEs(終末糖化産物)といわれる老化物質が生成される反応を糖化反応と言います。パンケーキやお好み焼き、揚げ物の美味しそうなコゲ色は糖化反応そのものです。生成されたAGEsはコラーゲンの架橋結合(悪玉架橋)をおこし、皮膚や血管は硬く脆くなり一気に老化を促進します。AGEsは食品中でも作られますが、空腹時の甘いお菓子やジュースの摂取など急激に血糖値を引き上げる食習慣によって、さらにその生成が

促進されてしまいます。肌も血管も筋肉も、身体の大部分はタンパク質で構成されているため、私たちは糖化の害から逃れることは出来ません。しかし、腹八分目を心がける、食物繊維の多い野菜や海草から先に食べる、高温で長時間の調理法を避けるなどの工夫で、その速度を遅らせることは可能です。[生く茹でる・蒸す・炒める・揚げる]—AGEs量は同じ食材でも調理方法で異なります。唐揚げよりも蒸し鶏に! 豚カツではなくしゃぶしゃぶに!

クリスマスや忘年会…美味しい行事が目白押し of このからの季節。過敏に反応する必要はないけれど、ちょっとした工夫で老化対策! 心がけてみませんか?

市民公開講座のお知らせ

テーマ 「コゲない」カラダを作るには

お肌の老化や生活習慣病の元凶、カラダの“コゲ”=「糖化」。糖化反応のメカニズムと糖化を防ぐ食生活のポイントを学びます。外食の多くなる年末だからこそ、知っておきたいヒントがいっぱいです☆ カウンセリングにも役立つ内容です。

実技 オリジナル練り石鹸作り

毎回大人気の石鹸作り! 天然精油を用いて、My soapを手作り!



7/19に開催した市民公開講座
「メディカルアロマセラピー～痛みの緩和をねらって」から

日 程 (全一回完結です) 11月15日(金) 19:00~20:30 / 12月14日(土) 15:00~16:30

受講費 1000円 定 員 20名(先着順) 講 師 森 美侑紀

お申込み&お問合せ Tel: **06-6976-6889** e-mail: **staff@morinomiya.ac.jp**

森ノ宮医療大学 施設・設備拡充のための寄付金申込者ご芳名

平成25年4月1日～平成25年9月30日 お申込み分(敬称略)

温かいご支援(ご寄付)に心より感謝申し上げます。

校友会会員の皆様をはじめ保護者ならびに関係者の皆様より多くのご寄付を賜り、心より厚く御礼申し上げます。平成25年4月1日より平成25年9月30日までにご寄付いただきました方々のご芳名を掲載し、感謝の意に代えさせていただきます。今後とも教育の一層の充実発展のために、引き続き多くの皆様からのご支援とご協力をお願い申し上げます。

お問い合わせ

森ノ宮医療大学法人本部／寄付金担当: 瀬川
e-mail: **kifu@morinomiya-u.ac.jp**

● 個人 1万円 …… 國重昌博(専・卒業生)
水谷隆文(専・卒業生)※(3万円)
匿名希望

総計3万円

※ご芳名は、個人・法人に区分し、金額ごとに掲載いたしました。また2回以上のお申込みの場合は右端に累計金額も掲載させていただきます。

寄付金累計状況(平成25年9月30日現在) (単位:円)

期 間	寄付金合計額
平成25年 4月1日～平成25年9月30日	30,000
平成19年12月1日～平成25年9月30日	41,350,000

13 校友会会報

NO. 13
2013 NOVEMBER



【卒業生インタビュー】 P4・5

理想の師に向かって 遠藤 彰宏さん 真紀子さん

(森ノ宮医療学園専門学校 鍼灸学科第29期 夜間部卒)

【校友会情報】 P2-6

第9回校友会交流会/同窓会だより/鍼灸室利用について
小児鍼を携え、パリの空の下で世界平和を思う/代議員会 議事録

【NEWS&EVENT REPORT】

森ノ宮医療大学 P7-13

クラブ・サークル活動/大学広報室から/学生支援室から
大学図書館から/コスモス治療院だより/市民公開講座
ウィンタースポーツサポート報告

森ノ宮医療学園専門学校 P15-21

河内 明先生自叙伝出版
第46回全国柔道整復学校協会柔道大会で女子3位入賞
全日本柔道形競技大会 & アジアグランドマスターズ柔道大会出場
クラブ・サークル活動/アロマ講座を開催
フリー季刊誌『ここ+から(ここからPLUS)』創刊
学務課から/専門学校広報室から/入試情報

【みどりの風クリニックだより】 P22

【INFORMATION】 P23・24

治療室におすすめBook・CD/出版部書籍案内/老化の元凶“糖化”とは
市民公開講座

森ノ宮医療学園平成24年度決算報告 P14

寄付金募集について/寄付金申込者ご芳名 P24

第9回校友会交流会 松山で親交と学術の2日間

専門学校鍼灸学科31期・柔整学科2期卒業・鍼灸学科教員
南方 克之



今回の「第9回校友会地方交流会」は、四国は愛媛の松山。まず大阪から高速バスで香川県の志度に向かいました。そこで校友会副会長の米沢豊彦先生(鍼灸学科7期卒)を筆頭に香川県在住の先生方がマイクロバスで出迎えてくださり、取るのもとりあえず地元で有名な讃岐うどんの店「源内」に直行。皆、久しぶりの再会を喜びながら、おいしい讃岐うどんをいただき、一路松山に向かいました。

松山では最初に、今回の世話役を引き受けてくださった白石哲夫先生(鍼灸学科29期・柔整学科3期卒)の治療所を見学させていただき、その後、宿泊研修施設に到着しました。この施設は道後温泉の温泉街の中にあり、到着後は各々温泉街に繰り出しての自由観光時間となりました。私はと言いますと、歩いて10分くらいのところにある、ジブリアニメ『千と千尋の神隠し』に登場するお風呂屋「油屋」のモデルになったと言われる「道後温泉本館」に向かいました。非常に味のある外観をカメラに収めつつ、いざ入浴…と思ったのですが、連休中でもあったため非常に混雑しており、結局入浴を

あきらめ、近隣の散策に行くことにしました。松山は夏目漱石『坊ちゃん』の舞台としても有名で、「本館」のすぐ横には3種類の地ビール「漱石」「坊ちゃん」「マドンナ」のお店があり、それを片手に「カラクリ時計」「道後ハイカラ通り」を見て回りました。夕食を兼ねた懇親会はおいしい料理とお酒をワイワイといただきながらそれぞれの近況報告を行い、なつかしい再会の楽しいひとときを過ごしました。

2日目の研修会にはさらに多くの先生方が参加され、2題の講演が行われました。1題は尾崎朋文先生(鍼灸学科3期卒)による「鍼灸での医療事故と鍼灸での消毒法」で、最近の鍼灸業界における消毒方法のスタンダードや医療事故の例などが報告されました。2題目の佐藤正人先生(鍼灸学科6期卒)による「ぎっくり腰アラカルト」では、200を超える腰痛の症例を分析・分類され、様々なパターンの腰痛の特徴や傾向等が報告されました。いずれも質問が多数飛び交う、熱のこもった有意義な研修会になりました。

松山からの帰路の途中にも再び「源内」に連れて行ってもらい、このお店の名物「カレーうどん」等をおいしくいただきました。今回の校友会地方交流会松山編は、最初から最後まで副会長の米沢先生をはじめ四国の先生方が、たくさんの笑いで「おもてなし」をしてくださった楽しい2日間でした!



Class Reunion 同窓会だより

卒業して1年、4年を過ごした友人と再び

大学鍼灸学科2期卒 橋本 優香

森ノ宮医療大学を卒業してちょうど1年が過ぎた3月16日(土曜日)、鍼灸学科2期生初の同窓会を開催しました。呼びかけに応じたクラスメイト35名、さらに忙しいなか6名の先生方も参加くださり、日ごろの臨床現場での悩みを相談したり、ほんの1年前までの学生生活の思い出話に盛り上がったりと、とても楽しい時間を過ごしました。大学生活4年間をともに過ごした仲間との数時間はあっという間に終わりましたが、お互いに刺激し合えた時間でもありました。このような場をこれからも大切にしていきたいと思います。最後になりましたが、時間を割いて参加してくださった先生方には心よりお礼を申し上げます。ありがとうございました。これからもご指導くださいますようお願いいたします。

参加者 35名

参加くださった先生方 小島賢久先生・坂本豊次先生・永瀬佳孝先生・松熊秀明先生・辻涼太先生・青井晃子先生

校友会から

校友会鍼灸室をご活用ください!

校友会鍼灸室は卒業生支援の一環として設置した時間貸し施術所です。

校友会会員であり、はり師及びきゅう師の免許を取得されている方であれば、簡単な登録で使うことができます。また卒業後の開業等についてのご相談も随時受け付けていますので、皆さんどうぞご利用ください。

登録方法

登録には以下の必要書類を提出してください。即日利用することも可能です。

1. 利用申請書
2. 誓約書
※1,2の用紙は校友会鍼灸室に設置。ホームページからもダウンロードできます
3. 鍼灸賠償責任保険加入済み証明書のコピー
4. 運転免許証・健康保険証・パスポート等のコピー
5. はり師・きゅう師免許証(原本もしくは**原本証合されたコピーを2部**)
※コピーの際は証書全体をコピーしてください(縮小可)。

☆提出に際しては、事前に下記管理担当者へ連絡をお願いします。

問い合わせ・連絡先

所在地:大阪市東成区中本 2-5-41 森ノ宮医療学園専門学校 アネックス校舎
TEL06-6976-6000/管理担当:伊藤 ※管理人在室時間:月・水・金:14:00~16:00
■ ホームページ/校友会鍼灸室 <http://morinomiya1973.web.fc2.com/>

小児鍼を携え、パリの空の下で世界平和を思う

鍼灸学科夜間部21期卒 鈴木 信



「パリで小児鍼を」という依頼で、森ノ宮医療大学の山下仁教授と2人で9月12日~17日まで渡仏してきました。フランスでの鍼治療は原則的に医師にしか認められていませんが、指圧や按摩同様に鍼灸治療を行っている市井の臨床家が数多く存在し、勉強熱心な先生方が今回の研修会

に参加されました。看護師や助産師の方々もおられ、とにかく疑問は何でもぶつけるという感じで、逆子や妊娠中の腰痛など治療について質問が続出。おかげで日本の鍼灸や小児鍼の皮膚刺激について自らも再考の機会となりました。

現在、フランスの出生率は2.0近く、日本の1.37と比べ段違いで右肩上がり。小児鍼を受診する可能性も絶対数も日本より優位なわけです。鍼を刺さない、損傷刺激がほとんど無い安全な小児鍼の施術は、もしかしたらフランスで流行していくかもしれませんね。ドイツでも日本小児はり学会顧問のトーマス・ヴェルニッケ先生が小児科診療に小児鍼を取り入れ、医師を中心とした小児鍼を勉強するグループを作られて活動されています。ヨーロッパから「逆

輸入」される小児鍼、になるかもしれません。

話は変わりますが、実はフランスについて私が知り得た情報が真実なのかを確かめたいと考えておりました。それは、きゅーぱみゅぱみゅがパリジェンヌに絶大な人気で、日本のアニメ文化がフランスに浸透しているという情報です。研修会参加者に、パリで開かれた『ジャパンエキスポ』できゅーぱみゅさんのインタビュー通訳をされた方がおられ、とにかく彼女はフランス人の若い女性にとって神様の存在で別格だそうです。山下先生によると、「きゅーぱみゅぱみゅって知ってますか?今、フランスで大人気なんですよ」といった国会答弁もあったとか。パリのあちこちの公園では小さな子供がポケモンのカードで遊んでいましたし、子供向けポケモン専門誌も目撃しました。うーん、これはもしかしたら日本アニメ文化こそが世界を平和に導くかも。日本人もアニメや漫画について真剣にその意義と影響力を考えねば、と思いつつながら帰路についたところ、羽田空港では『ドラゴンボール』の主人公・悟空の大きなポスターが出迎えてくれました。数年以内にはこんな国会答弁もあり得るでしょうか?「総理、小児鍼って知ってますか?今、フランスで大人気なんですよ!」



理想の師に向かって

卒業生インタビュー

遠藤 彰宏さん
真紀子さん

森ノ宮医療学園専門学校
鍼灸学科第29期
夜間部卒

鍼灸院での研修仲間からスタート

真紀子さん(以下👩) 田中はり灸療院は私たちで3代目。父から受け継いで3年になります。父が大阪時代に森ノ宮医療学園専門学校の前身、大阪鍼灸専門学校第2代校長だった米山博久先生、由子先生の米山鍼灸院に弟子入りしていた関係で、私も専門学校入学時から見学を許され、2年次より弟子入りし、卒業後1年間お世話になりました。

彰宏さん(以下👨) 私の場合は、高校まで専ら野球の生活で、高校3年次に進路を考えたとき、当時流行っていたドラマなどで取り上げられていた職業のどれもが5、60代になったときの姿を想像できなくて、選択肢として残ったのが鍼灸師と柔道整復師だったのです。そこからさらに自分が一生やっていく仕事、年々スキルアップしていけるものは…と考えて、鍼灸を選んだという感じです。

私が米山鍼灸院にお世話になった時期は2年生の夏ごろからです。クラスメイトから「ステキな先生がいる」って聞いて行ってみたいと思ったのが始まりです。その先生が由子先生でした。

👩 米山鍼灸院は、鍼灸を学びたい者に対しては“来るもの拒まず”の姿勢でした。電車の窓から「小児はり」と書かれていた米山の看板を見て、ダメモトでドアをノックしたら、「ああ、見学の方ね。」って、すんなり治療を見学させてもらえて、研修生になったというビックリなエピソードのある友人もいます。

治療家として、人として 素晴らしい米山由子先生

👩 父の研修時代も、由子先生の作られる食事食べて、お

酒を飲んで議論して…と、和気藹々、家族同然のようだったようですが、私も由子先生にはお弁当を作っていたいたり、生活の何から何までお世話になりました。

私は弟子入り時代たくさんミスをしたのですが、それらを指摘されるときも、キツイ言葉を吐かれるのではなくて、鍼灸をしていこうと思っている私たちの自信を失わせないようにという優しさあふれる指導をしていただきました。

👩 治療に関しても、包み隠さずすべてを見せてくださいました。研修生だからという隔てはまったくなくて、ベッドの仕切りのカーテンも半分以上開けて、私たち研修生や患者さんと会話をしながら治療されました。患者さんもそういう環境に慣れておられて、研修生がいることが当たり前だったようです。

👩👩 由子先生は、治療家としてはもちろんですが、お人柄も大変素晴らしい尊敬できる方でした。

鍼をする者は鍼を受けること

👩 米山鍼灸院での研修の重要なポイントは、「鍼をする人は必ず鍼を受けなさい」です。私たちはまず由子先生や米山鍼灸院院長の鈴木信先生、湯谷達先生に鍼を受けたときの感覚をイメージとして持って、次に研修生同士でやりこしたときの刺鍼の感じとどう違うか、すり合わせをしていくのです。

👩 受け手も打つ側もそのときに持った感覚を必ず言葉で表現するようにします。そして両者がそれぞれの身体で感じた感覚がぴったり合うように練習していきました。

👩 先生に受けた鍼のイメージは、例えば、あのレストランのあの忘れられない味が食べたいみたいな感じ…ですね。当時、由子先生から受けた鍼の記憶が身体に残っているので

す。だから、練習してやっとその感覚に近づいたなと思うと、また次の課題が出てくる…その記憶と向き合い、日々習練する。その繰り返しですね。

必ず答えが返って来る森ノ宮の先生方

👩 私は卒業後、あんまマッサージの免許を京都の専門学校で取ったのですが、比較対象ができると森ノ宮が環境的に恵まれていたことがわかりますね。学生だったときにはそれが普通だから見えてこないのです。例えば、私が目指す鍼灸師のトップが由子先生だとしたら、その途上にいらっしゃる先生方が森ノ宮にはたくさんいらっしゃる。だから、在学中はその時々に分たたちが直面している問題や課題を先生方にぶつけることができたし、卒業後も流派や手技が違ったらなかなか話がかみ合わなかったり質問することも難しかったりしますが、そういうことは無関係に話をすることができます。

👩 どんなことでも、自分がぶつかって悩んでいることを質問したら、必ず先生ご自身が私たちのような時代にどうだったか、同じようなことで悩んでいたとか、経験を踏まえて応えてくださるのです。

👩 森ノ宮では東洋医学、中医学、西洋医学、流派もさまざま、多方向から鍼灸を勉強できたのはよかったように思います。鍼灸師になってからは、自分が信じる、これだと思える考え方で治療していくようになるのですから、その選択肢はバラエティに富んでいるほうがいい。

私は卒業後、由子先生のご子息の米山 榮先生の下で勉強したこともあって、治療内容についてドクターと話ができることは必要だと感じています。現代医学的視点と東洋医学的な診方どちらかに片寄るのでなく、できるだけ柔軟でありたいと思っています。



今のテーマは各々「小児はり」と「顔面神経麻痺」

👩 私は小さいころから風邪を引いたらとにかく小児はりでしたが、福岡ではまだまだ一般的ではないですね。私も今、1歳と5歳の子どもを保育園に預けるようになって、子どもの夜泣きやアトピーで多くのお母さんたちが悩んでおられるのがわかって、本気で小児はりを受けてほしいなと思いました。それで、ホームページもわかりやすくしました。育児休暇の1年間で子どものために精一杯のことをやってあげたい、小児はりやベビーマッサージで赤ちゃんとのコミュニケーションを取ろうというお母さんたちが来てくださいます。

👩 私が特に課題としているのは顔面神経麻痺です。これは、いわゆる名人芸ではなくて、条件がそうと鍼が効く可能性がある疾患だと思うのです。米山榮先生が実際に治療されているのを見てきて、特効穴的にこのツボに鍼をするのではなくて、この時期に鍼をしたらどのような手技であっても治るという印象を持っています。麻痺が起こってから時間が経ってしまっ、治療に来られるとやはり治りが悪いし、できるだけ早い段階で鍼灸治療を受けられるとずっと早く回復する人が増えると思います。

👩 顔面という一番目立つところに症状が現れるので非常に悩まれて、いよいよ限界という状態の方が多くて、治療後にもっと早く来ればよかったとおっしゃいます。ある程度治療していくと治り方も治療内容も停滞していつ、治療を続けていいいいのか、病院からはもう手立てがなくなってビタミン剤だけを処方されているという状態の方もいます。

👩 来院されたときに、発症したときの麻痺の状態と、経過時間、これまでの治療での回復程度を問診で聞くと手ごわいか、比較的早く治るかが予想できます。痛みはなかなか患者さんと治療者が共感しにくかったりしますが、麻痺は治療していくなかで回復具合が目に見えて実感できるので、治療していて楽しいですね。期待に応えようと思って治療して、その結果、身体が変化してきて、患者さんにとっては代われない存在になっていく…というのはかけがえのないことです。

理想の鍼灸師像へ向かって

👩 実は、由子先生の治療の良さが私には最初わからなかったのです。脈を取って切経して証を決めて治療していくという学校で習う治療とはまったく違って、見た目上はどの患者さんにも同じ治療をされてたから。

👩 全身を治療するなかで、身体に触れること(タッチ)を大切にされ、鍼の感覚、相手の感受性から刺激量を変えていく治療でした。

👩 私たちが研修生当時、由子先生は88歳でした。先生ご自身のこと、そして7、80年かけて築かれた鍼の技を知りたいということからスタートして、研修するうちに自分の描きたい将来像が由子先生、榮先生を通して見えてきました。そこまで行くのに今の自分では焦っても仕方ないし、自分のできることを少しずつやっていき、先生に少しでも近づいていければと思っています。

田中はり灸療院

住所 〒810-0001
福岡市中央区天神3丁目12-12
天神田中ビル2階

電話 092-751-0227

ホームページアドレス
<http://tanaka-harikyu.jp/>

診療日
平 日 8:30~12:00/14:00~18:00
土曜日 9:00~12:00/13:30~16:00
休診日 日曜日・祝日



平成25年度 森ノ宮医療学園校友会 代議員会 議事録

日時 平成25年5月19日(日) 13時00分～14時30分 **場所** 森ノ宮医療学園専門学校 605教室
出席者(役員) 浜田、米澤、奥田、房前、藤川、佐藤(正)、岡本、入江、辻丸、南方、横居、高崎、佐藤(寿) **(代議員)** 松本、宝諸、渡辺、大西、成田、鈴木(紘)、才津、櫛引、大槻、橋本
(顧問) 清水、尾崎 **(事務係)** 伊藤、向山
書記 伊藤 **議事録署名人** 入江、南方 (敬称略)

遅れている浜田会長に代わり奥田副会長から開会宣言および挨拶が行われた。引き続き、尾崎副校長からの挨拶が行われた。学園の拡大により校友会が増加したことや、専門学校の鍼灸学科・柔整学科共に初めての定員割れが生じたことに対して校友会の力をお借りしたいと述べられた。また、学園の理事に変更が生じたことが報告された。森前理事長に代わり清水新理事長が就任し、森前理事長は相談役に就任した。
到着した浜田会長からも簡単な挨拶が行われ、校友会全体で学園の新理事体制をバックアップしていく所存が述べられた。浜田会長が議長となり、報告事項及び議事へと進行了た。
議事録署名人は入江幹事 南方幹事が推薦され承認された。

報告事項

【会員動態】

総務の房前幹事より資料に沿って会員動態の説明が行われた。

【新役員の紹介】
役員の欠員と異動による報告が行われた。山本前監事は体調不良が原因で退任されたこと、尾崎・小島両名は学園の理事になったことにより役員を退任となったことが報告された。退任に伴って生じた補充として新任の役員(入江幹事[書記]、高崎幹事、南方幹事、佐藤正人監事)が紹介された。今回の新役員は補充ということであり、総会および代議員会による承認は不要である。従って、報告という形となった。また、幹事内での係りは異動(葉山幹事が書記係りを退任)が行われたが、これも承認の必要はないとの見解が房前幹事より説明された。

【新代議員の紹介】
前回(平成24年5月20日)の会則変更により、代議員の地域定数が廃止され、総数で50名、各部会で10名程度の配分としていくことが確認された。今回の新任の代議員(坂本代議員[大学鍼灸3期]、加藤代議員[大学理学療法3期]がそれぞれの部会の代議員となった)も補充という扱いであるので報告という手続きとなった。また、森優也代議員が学園理事就任により退任されたことも報告された。
【その他】
その他の事項についての報告はなかった

議事

【平成24年度事業報告】

平成24年度の事業報告が房前幹事より配布資料に沿って説明が行われた。
愛媛中央病院での研修人数は2名であると訂正された。その研修における募集方法・定員・助成の内容について松本代議員より質問が起こった。定員は予算面から考えて最大2名であり、募集方法は公募である。実際、研修というよりは就職のような扱いであり、研修費を助成しているのではなく、滞在費を助成していることが確認された。

【平成24年度会計報告】
平成24年度の会計報告が房前幹事より配布資料に沿って説明が行われた。
雑益とは、以前から行っていた奨学金制度において、返済不能が生じた場合に不払いを校友会が肩代わりしていたが、その不払い分が年数を経て校友会に対して返金されたものであることが確認された。

【監査報告】
去る平成25年4月12日に全ての資料、帳簿が整っており相違ないことが藤川監事より宣言された
以上の事業報告、会計報告および監査報告が承認された。

【平成24年度事業計画】
平成24年度の事業計画が房前幹事より説明された。
校友会文庫を新しく追加したことが補足説明として行われた。校友会文庫とは大学の図書の充実の為の事業である。また、資料には校友会文庫の記載がなかった為に追加訂正された。

【平成25年度予算案】
平成25年度の予算案について房前幹事より説明があり、以下の議論や決定・確認が行われた。
◇名称変更
科目名の変更が説明された。「校友会長賞」が「卒業式会長賞」に「学生福利厚生費」が「学生福利費」に変更された。

◇交流会費増加
校友会員の人数増加につき、広い会場の確保が困難になり、専門学校と大学とで別開催の予定である。従って、交流会費は増額することとなった。また、別開催はそれぞれの部会の自立性を高める狙いもある。
◇校歌について
現在、大学には校歌というものがない。専門学校は創立30周年のときに作成している。その曲に大学らしい歌詞をあてて大学の校歌とする予定となっている。その費用を校友会が捻出する。科目としては「雑費」とすることが決まった。
◇校友会文庫
大学の図書館の蔵書充実の為の資金補助を行う。現在の予算は月刊誌の購入に多く取られている状況であり、蔵書が増える状況にない。在校生からも蔵書充実の要請があった為、新しく校友会文庫の科目を作成し費用負担を行うことが決定した。
◇謝恩会
学園からの要請もあり、謝恩会の一部費用を助成する。昨年度は補正予算として組んだが、今年度は「謝恩祝賀費」とする。
以上の事業計画、予算案が承認された。

学園報告

新理事長に就任した清水理事長より学園報告が行われた。

◇理事長交代と理事の変更
森前理事長は任期満了によって退任され相談役に新しく就かれたことが報告された。また、学園役員にも変更が生じたことが報告された。昨年度までは理事9名であったが、定年により2名退任され、今年度は3名追加し合計10名となった。
◇校友室
法人本部に校友室を新設し、校友会に限らず学校関係者に対する広い窓口として機能するものとなった。学園と校友会との連携を深める為でもある。
◇国家試験結果
平成25年度の国家試験の結果は専門学校鍼灸学科で合格率が約94%、柔道整復学科で約91%となった。大学の鍼灸学科は約93%、理学療法学科は1年目60%、2年目が70%であったのに対して、3年目の今年は約95%という全国水準に近い数値となった。
◇学校関係者評価
専門学校の「一条校化への動き」により学校関係者評価を行っている。
◇補助金
大学は昨年度に始めて補助金が支給された。設立してから4年たったことに起因しており私学進行共催から支給された。現在、学校法人は文科省認可になっている。
◇入学状況
専門学校においては受験者数に大きな変化はないが、入学者の減少が起きているのは、試験の結果による不合格者を適正に出していることと、以前と比較して入学辞退が多いのが原因と思われる。入学辞退が多い理由は、周囲の医療系専門学校と比較して学費が高く感じられており、授業料が安い学校へ流れている可能性がある。また、入学者の傾向として、自宅から近いところを選ぶ傾向はあるように思う。
大学においては、鍼灸学科の応募が少し低い状況であったが、保健体育の教員養成コースを新設したことにより若干増加した。理学療法学科や看護学科は変わらず多くの受験生がある

最後に米沢副会長によって閉会の辞が述べられ閉会となった。

議事録署名人 南方克之

議事録署名人 入江浩正

森ノ宮医療学園校友会 平成24年度決算報告書

(自:平成24年4月01日)(至:平成25年3月31日)

● 収入の部 (単位:円)				
項 目		予 算 額	実 績 額	予算対比差額
前期繰越資金	A	51,827,553	51,827,553	0
24年度収入	B	25,605,000	25,296,585	-308,415
(収入の部)合計	A+B	77,432,553	77,124,138	-308,415

● 支出の部 (単位:円)				
項 目		予 算 額	実 績 額	予算対比差額
24年度支出	C	25,533,000	19,075,266	6,457,734
次期繰越資金	D	51,899,553	58,048,872	6,149,319
普通預金	D1	36,899,553	43,048,872	6,149,319
(支出の部)合計	C+D	77,432,553	77,124,138	12,607,053

平成24年度決算報告書に相違ないことを認めます。 平成25年4月12日 監査役 山本 勲 藤川直孝

森ノ宮医療大学

Morinomiya University of Medical Sciences



クラブ・サークル活動 …… 8 市民公開講座第2回「認知症」を開催 … 12
大学広報室から …… 9 ウィンタースポーツサポート報告 …… 13
学生支援室から …… 10
大学図書館から …… 11
コスモス治療院だより

本学サッカー部が関西学生サッカー連盟に新規加盟!

平成25年度より、本学サッカー部が関西学生サッカー連盟に新規加盟しました。医療系大学が学生サッカー連盟に加盟しているケースは全国的にみても珍しく、大変チャレンジングな試みです。学生アスリートの一員として大会に参加する以上、勝利を追求することは当然であり、あわせて医療系国家資格取得の両方を達成するべく、文武両道を目指しています。

部員一同、全力で戦います。



女子バスケットボール部3部昇格



女子バスケットボール部は、9月1日に行われた3・4部入れ替え戦に勝利し、関西女子バスケットボール連盟の3部昇格を果たしました。学生は、連戦に次ぐ連戦で疲労困憊の中、部員全員が力を合わせ、最高の結果を残すことができました。

お忙しい中応援に駆けつけてくださった保護者・卒業生・在学生の皆様、本当にありがとうございました。来季は新しいステージでの戦いとなります。部員一同力を合わせてこれからも練習に励みます。

来れ!ライフサポート部へ

ライフサポート部は、一般の方でも行える簡単な救命処置技術と知識の普及を目指して日々活動しています。もしものときに使える「一次救命処置」「AED」の知識と技術を学べる講習会を無料で開催しています。最近では、御堂筋kappo、オープンキャンパス、地域の保育園、老人会、手話サークルやフェスタなどに出張して講習を行いました。医療系学生の視点から、わかりやすく一生懸命お伝えすることを心がけています。クラブメンバーの仲が良いのも特徴です。講習会に興味のある方はライフサポート部までお気軽に声をかけてください。



大学広報室から

北野病院と連携協定を締結

森ノ宮医療大学は去る5月27日、大阪市北区の公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院と相互連携協定を結びました。北野病院は地域医療支援病院として承認され、「大阪府がん診療拠点病院」に指定された地域医療の中核となる総合病院です。協定では、共同研究の実施や、本学からの鍼灸師・理学療法士・看護師の派遣、就職先としての本学卒業生の受け入れなどを協力して進めていくことが確認され、調印式では北野病院の藤井信吾理事長と本学園の清水尚道理事長とが、力強く握手を交わしました。また、藤井理事長からは、「将来北野病院で活躍する人材をたくさん育ててほしい」とのメッセージをいただきました。

本学はすでに大阪府立急性期・総合医療センターや医療法人錦秀会、医療法人協和会千里中央病院とも連携協定を締結

結していますが、新たに北野病院が加わったことで、在学生の実習先の確保はもちろん、より充実した研究・医療活動の推進が期待されます。



藤井信吾北野病院理事長(右)と清水尚道本学園理事長(左)

医療や運動について学ぶ『中学生サマー・セミナー』4講座を開講

中学生を対象に夏休みを利用してさらに学問への興味・関心を伸ばすことを目的とする「中学生サマー・セミナー」が本学で開催され、4日間で約50名の中学生が参加しました。

開講した講座は、①腰痛になったときのためのツボを使った治療法や腰痛予防の方法を学ぶ「腰痛とツボ療法」、②運動時の呼吸循環器の反応を分析し、正しい運動指導や種目毎に応じた最適なトレーニング方法を学ぶ「呼吸循環器系、その秘めたるパワーを科学する」、③理学療法とは何か、理

学療法士とは何をする人なのかを学ぶ「理学療法とは?理学療法士とは?」、④受精から赤ちゃんが生まれてくるまでの不思議な成長や生まれた赤ちゃんについて学ぶ「いのちの不思議」の4講座。

参加した中学生からは「医療の職業について実際に体験することができ、具体的に知ることができた」、「自分が将来目指す職種が決まりました」などの声が聞かれました。



■ 平成25年度第1回学内合同就職説明会を開催



8月11日(日) 森ノ宮医療大学教育後援会協力のもと、「第1回学内合同就職説明会」を開催しました。今回は、過去最多となる48の医療施設にお集まりいただきました。

また、就職説明会前には「就職活動実践マナー講座」を開講し、挨拶やお辞儀の仕方、身だしなみ、面接マナーなど、社会人としての振る舞い方を学びました。

この秋より、4年生は本格的に就職活動を開始しています。鍼灸師・理学療法士の求人がございましたら、森ノ宮医療大学 学生支援室(TEL:06-6616-6911)までご連絡をお願いいたします。

■ 医療接遇マナー講座を開催

9月26日(木)、森ノ宮医療大学教育後援会協力のもと、「医療接遇マナー講座」を実施しました。これから実習に臨む2、3年生たちが多数参加し、医療人として必要な接遇マナーや患者様・職場の方々とコミュニケーションの取り方について学びました。

接客と接遇の違いを把握した後、挨拶トレーニングや身だしなみ、親しみやすい表情や言葉遣い等について演習も行いました。学生たちからは「少し意識をすることで相手に与える印象が変わることを学んだ」「すぐに使えることがたくさん学べてよかった。実習でどんどん実践していきたい」という声が聞かれました。



■ 「茶道部」発足

平成25年度、「茶道部」(顧問:村上生美・吉川有葵)が発足しました。現在は看護学科2年生を中心に10名程度の学生が活動しています。活動場所は看護学科の地域・老年実習室(畳)で、お軸も花入れも飾って雰囲気を出しています。

お稽古は毎週木曜日18:00から行っています。裏千家の土井宗英先生に指導していただいております。「上達が早い」とほめていただきました。利休の「相客に心せよ」「重いものは軽く、軽いものは重く」「花は野にある如し」などの教えを深く学び、皆様方をおもてなしできるよう精進していきます。



日々の励み

オープンキャンパスで学生スタッフに「図書室」と紹介される度、心の中で「『図書館』なんだけどなあ…」と苦笑いをしています。小さな図書館ですが、その良さを最大限に活かす仕事を心掛けています。とは言っても、なかなか数字で結果を出せないのが図書館を運営していく中で難しい点ではあります。

最近、ある利用者から掛けられた、とても励みとなった言葉をご紹介します。

現在、理学療法士を目指して専門学校に通っている本学卒業生から、「卒業して訪れる度、学内で一番変わったと実感するのは図書館です。」と、言われました。話を聞くと、当館は、最新刊を数冊ずつ用意していることや、学生からのリクエストがあった書籍も必要であれば迅速に購入したり、実際に書店に足を運んで本を選ぶブックハンティングの制度もあり、本当に学生が必要としている本が揃っている、3学科対象とする医療分野の雑誌も幅広く用意されているなど、多くの点において利用し易く、彼の通う学校の図書室より優れているそうです。

開学初期に入学し、この図書館が始まった当初から知っている彼の言葉は、私たちの日々の努力が実を結んだと実感でき、本当に励みとなりました。その他にも、本学の卒業生から職場などの図書館を利用して、母校の図書館の良さを実感し、在学中にもっ

と利用しておくべきだった、という声を多く聞きます。

今年度は校友会から多額のご寄附をいただく運びとなりました。この場をお借りして、図書館職員一同、心からお礼を申し上げます。今後も利用者に喜ばれるサービスの充実を図っていきます。

ご寄附いただきました書籍は、「校友会寄贈図書」のシールを貼り、順次新着図書コーナーなどに並べております。

当館は大学卒業生の方はもちろん、専門学校の在学・卒業生の方もご利用いただけます。

在学中の学生のみなさんも先輩の言葉を信じて、日々の勉強にぜひ図書館をご利用ください。



コスモス治療院だより

森ノ宮医療大学教授・附属施術所所長 仲西 宏元



秋涼爽快の候、会員の先生方におかれましてはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。暑い夏が終わり、日々過ごしやすくなってまいりますが、気候の寒暖差のため体調を崩さないよう気を付けてください。

今年度も終盤になってきました。施術所では毎年2月に実施しています卒業試験(OSCE)を、今年は学生の負担軽減夏季休暇期間中に実施しました。

OSCEの試験では施術所担当スタッフ全員で、医療面接、整形外科検査(徒手検査)、東洋医学所見(舌診と脈診)、取穴、鍼灸実技などの項目を一日かけて、汗を流して行っています。ただ、OSCEの試験も3回目を迎え、今後の学生指導の仕方について

少し悩むような成績であります。卒業までの残りの期間、施術所スタッフが学生を再度教育していかなければならないと考えております。また、卒業後の進路としまして、会員先生方の治療所で世話になるかもしれませんが、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

秋期の鍼灸イベントでは、11月2日に大阪市港区役所主催の「港区健康2013」が大阪市中央体育館で開催。施術所では「心身からみる健康状態～東洋医学 体質チェック～」と銘打って健康チェックのコーナーにスタッフ2名と研修鍼灸師1名、専門学校教員2名で参加し、市民の皆様方に東洋医学をわかりやすく説明し、またツボ療法などを詳しく解説。

また、臨床研究といたしまして引き続き施術所の患者様を含めた不眠治療をスタッフであります鍋田先生と辻丸先生が一丸となって実施しております。これに関しまして今後全日本鍼灸学会にご報告ができるのでないかと考えております。

今年度もコスモス治療院は臨床、教育、臨床研究を充実していきたいと思っております。それには森ノ宮医療大学と施術所の知名度を今以上に高めることが必要だと思っております。今後とも大学ならびに施術所に対しましてご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

市民公開講座 第2回「認知症」 を開催

森ノ宮医療大学大学経営企画室



台風18号が近畿に最接近した9月16日(月)、本年度2回目となる大阪府立急性期・総合医療センターとの連携イベント「市民公開講座」が、「認知症」をテーマに森ノ宮医療大学(西棟531教室)で開催されました。この日の大阪市内は早朝まで暴風雨に見舞われましたが、昼ごろには台風が遠ざかり、結果的には91人もの市民の方々がご参加くださいました。

基調講演では、大阪府立急性期・総合医療センターの脳卒中センター長・神経内科部長の狭間敬憲先生が「認知症診療の進歩」と題して講演され、単なる加齢によるもの忘れと認知症によるもの忘れの違いや、薬物療法の進歩によって施設ではなく在宅で介護できるケースが多くなっている現状などについて詳しく解説されました。

また、本学の鍼灸・理学療法・看護学科から3名の研究者が講演し、それぞれの専門分野から考えられる認知症の予防法や、症状改善策を紹介しました。

テーマが認知症ということもあり、会場には高齢の方の姿が目立ちましたが、どなたも非常に熱心にメモをとられ、講演にじっと聞き入っておられる様子が印象的でした。終了後のアンケートでは、



「内容が難しくてもすごく刺激になる」「生活していく中で大いに老後の参考になる」といった感想が寄せられ、学びに対する意識の高さがうかがえました。

日ごろ、本学のような小さな大学が社会に貢献していると感じられる機会は決して多くありません。そんな中、市民公開講座のような取り組みは、本学もわずかながら「市民に頼られる存在」であることを教えてくれると同時に、本学が社会の一員として、地域の人々の輪の中に温かく迎え入れられている喜びを、あらためて実感させてくれるものと言えるでしょう。

市民公開講座 第3回「肺ガン」

「予防・治療から社会復帰へのケア-最近の進歩」

日時 2013年11月3日(日)
13:30～15:30

会場 森ノ宮医療大学

基調講演 「肺ガン診療の進歩」

大阪府立急性期・総合医療センター
医務局長/主任部長 **谷尾 吉郎**

講演Ⅰ 「肺ガンと理学療法」

森ノ宮医療大学
保健医療学部理学療法学科 教授 **金尾 顕郎**

講演Ⅱ 「肺ガンと看護」

森ノ宮医療大学
保健医療学部看護学科 教授 **吉村 弥須子**

講演Ⅲ 「緩和ケアにおける鍼灸治療」

森ノ宮医療大学
保健医療学部鍼灸学科 教授 **鍋田 智之**

ウィンター スポーツ サポート報告

森ノ宮医療大学大学院
保健医療学研究科 第1期卒
大月 隆史、高崎雷太



平成25年3月8日・9日の2日間、プロのスノーボード団体であるPro Snowboarders Association Asia(以下、PSA)主催のハーフパイプ大会「南郷ハーフパイプセッション」(会場:福島県南会津郡・会津高原南郷スキー場)において、高崎雷太、大月隆史、大川祐世(森ノ宮医療大学大学院生)の3名が鍼灸トレーナーとしてスノーボード選手が抱えている身体的障害のケア、または怪我予防のサポートを行った。

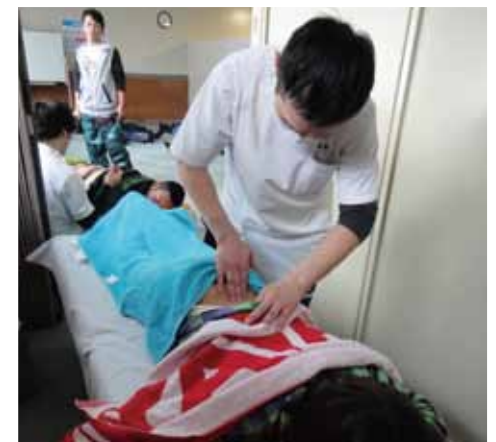
今回、スノーボード選手が抱えている障害で最も多かった部位は腰部、次いで上肢(特に肩)、下肢(特に膝)で、初めて鍼灸治療を受ける選手に対しては、事前に口頭で鍼灸施術の有効性と安全性を伝え、その場で同意を得てケアを行うようにした。ほとんどが運動器系障害であったため筋肉に対しての刺激が主であったが、動作時痛のある選手に対しては、初めにどういう動作によって痛みが生じるかを確認し、細心の注意を払いながら痛む部位の筋肉に単刺を行った。施術後は選手にもう一度同じ動きをしてもらい、施術前後の疼痛度合いを確認した。

また、けが予防のサポートとしては、スパイダーテックおよびかんたんテーピング(いずれも株式会社日本特殊医科様より提供)を使用してテーピングを行った。今回使用したテープは貼る部位ごとに整形されていて、貼る順番もテープに記載されており、初心者でもセルフケアとして使用することができるなど利便性に富んでいる。

ケア後は、選手から「動く範囲が広がった」「痛みが減った」等の声が寄せられ、さらに今後への要望として鍼灸、スポーツマッサージ、テーピング、ストレッチなどのケアが寄せられた。今回は、鍼灸とテーピングが主体であったが、選手達の声を生

かし、今後はよりサポートの幅を広げていきたいと思っている。

今回の活動は、PSA副会長吉田温氏、並びに会津高原南郷スキー場の酒井良雄所長をはじめ、株式会社日本特殊医科様のご支援ご協力、本大学の理解を得て実現することができた。次回の活動は未定であるが、これからも森ノ宮医療大学ウィンタースポーツサポートチームとして、鍼灸のみではなく、理学療法学科、看護学科の在学生、卒業生も含めてチームを組み、トレーナー活動の領域を広げていきたい。



学校法人森ノ宮医療学園 平成24年度 決算報告概要

財務資料の内、消費収支計算書、資金収支計算書、貸借対照表を千円単位で示してあります。

帰属収入27億3552万円、消費支出22億8073万円、帰属収支差額4億5479万円になります。

注1)表中、(*印)科目は複数の科目をまとめてあります。

注2)表示は、消費収支計算書を主として、資金収支計算書は簡略化してあります。

消費収支計算書概要 平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

《消費収入の部》 (単位:千円)		
科 目	予 算	決 算
学生生徒納付金	2,415,932	2,380,284
手数料	21,500	53,108
寄付金	3,300	9,368
補助金	70,000	84,935
資金運用収入	7,400	7,828
事業収入	167,350	181,230
雑収入	17,000	18,771
帰属収入合計	2,702,482	2,735,524
基本金組入額合計	△ 74,427	△ 27,005
消費収入の部合計	2,628,055	2,708,519

《消費支出の部》 (単位:千円)		
科 目	予 算	決 算
人件費	1,464,690	1,448,107
教員人件費	929,080	919,298
職員人件費	307,410	307,282
役員報酬	10,000	7,800
退職給与引当金繰入額	76,000	75,302
退職金	142,200	138,425
教育研究経費	699,508	601,132
消耗品費	78,185	55,256
光熱水費	46,301	38,865
旅費交通費	3,305	2,007
奨学費	17,100	16,430
福利費	39,554	33,818
通信運搬費	6,937	4,637
印刷製本費	5,119	2,844
保守管理費	55,478	44,752
修繕費	8,440	6,732
損害保険料	2,098	2,114
賃借料	2,080	1,061
諸会費	5,602	3,915
報酬委託手数料	28,437	20,246
* 渉外費・雑費	1,010	785
行事費	23,883	23,676
教材費	7,088	5,393
実習費	63,710	55,460
研究費	45,835	28,207
調査費	2,000	0
減価償却額	219,320	219,630
医療経費	38,026	35,305
管理経費	253,118	227,344
消耗品費	8,698	8,378
光熱水費	5,955	5,403
旅費交通費	2,300	1,659
福利費	22,269	11,855
通信運搬費	3,953	3,379
* 保守管理費・損害保険料・賃借料	6,553	5,405
公租公課	6,120	2,833
修繕費	6,060	5,542
* 諸会費・会議費	1,994	1,498
報酬委託手数料	12,676	12,244
広報費	130,000	127,003
研修研究費	4,170	2,076
* 渉外費・調査費	7,330	5,961
雑費	3,740	3,380
減価償却額	28,300	27,987
資産処分差額	0	4,154
消費支出の部合計	2,439,316	2,280,737
当年度消費収入超過額	188,739	427,782
当年度消費支出超過額	0	0
翌年度繰越消費収入超過額	372,518	616,848
基本取崩額	0	0
翌年度繰越消費支出超過額	0	0

資金収支計算書概要 平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

《資金収入の部》 (単位:千円)		
科 目	予 算	決 算
帰属収入合計	2,702,482	2,735,524
前受金収入	1,196,023	1,093,139
その他の収入	64,388	71,597
資金収入調整勘定	△ 1,107,916	△ 1,093,013
前年度繰越支払資金	3,188,568	3,188,568
収入の部合計	6,043,545	5,360,314

《資金支出の部》		
科 目	予 算	決 算
人件費支出	1,497,490	1,485,124
教育研究経費支出	480,188	381,653
管理経費支出	224,818	199,357
施設関係支出	7,896	7,644
建物支出	7,896	7,644
構築物支出	0	0
建設仮勘定支出	0	0
設備関係支出	71,031	34,461
教育研究用機器備品支出	16,898	16,799
その他の機器備品支出	31,333	1,939
診療所機器備品支出	1,000	945
図書支出	14,300	7,448
車輛支出	0	0
ソフトウェア支出	7,500	7,329
その他の支出	111,933	112,980
資金支出調整勘定	△ 111,933	△ 339,381
次年度繰越支払資金	3,701,622	4,114,356
支出の部合計	6,043,545	5,996,192

貸借対照表概要 平成25年3月31日

《資産の部》 (単位:千円)		
科 目	本年度末	前年度末
固定資産	8,593,324	8,803,368
有形固定資産	8,549,683	8,764,574
土地	4,573,752	4,573,752
建物	3,345,869	3,459,699
構築物	131,130	145,204
教育研究用機器備品	179,757	248,125
その他の機器備品	28,776	40,827
診療所機器備品	74,733	88,163
図書	214,738	207,290
車輛	928	1,515
建設仮勘定	0	0
その他の固定資産	43,641	38,794
収益事業元入金	30,000	30,000
保証金	475	475
ソフトウェア	13,166	8,319
流動資産	4,178,840	3,266,758
現金預金	4,114,356	3,188,568
未収入金	49,485	64,388
貯蔵品	1,227	1,076
立替金	6,332	3,287
* 前払金・仮払金	7,440	9,439
資産の部合計	12,772,164	12,070,126

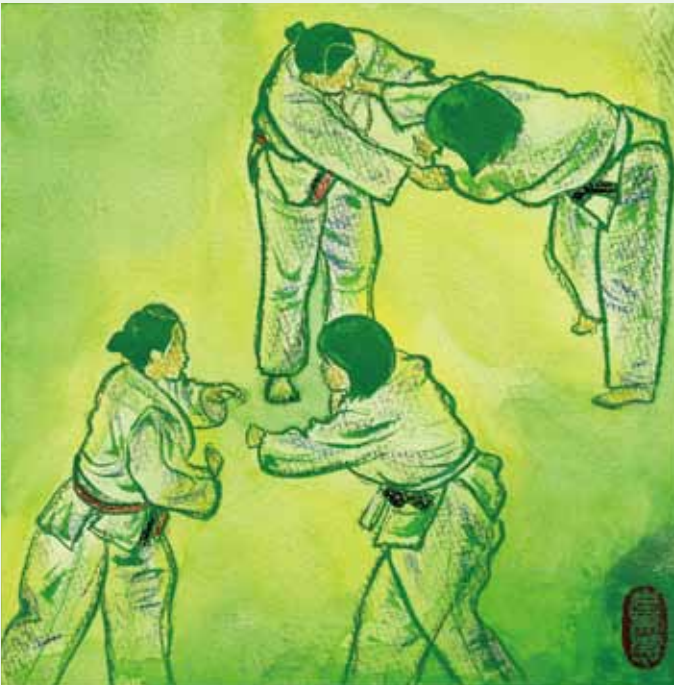
《負債の部》		
科 目	本年度末	前年度末
固定負債	243,879	281,662
退職給与引当金	243,879	280,896
長期未払金	0	766
流動負債	1,507,355	1,222,321
未払金	329,943	101,728
前受金	1,093,139	1,043,528
預〇金	84,274	77,065
仮受金	0	0
負債の部合計	1,751,234	1,503,983

《基本金の部》		
科 目	本年度末	前年度末
第1号基本金	10,263,081	10,243,364
第4号基本金	141,000	139,000
基本金の部合計	10,404,081	10,382,364

《消費収支差額の部》		
科 目	本年度末	前年度末
翌年度繰越消費収入超過額	616,848	183,779
消費収支差額の部合計	616,848	183,779
負債・基本金・収支差額の部合計	12,772,164	12,070,126

森ノ宮医療学園専門学校

Morinomiya College of Medical Arts and Sciences



- 河内 明先生自叙伝出版16
- 第46回全国柔道整復学校協会柔道大会で女子3位入賞17
- 全日本柔道形競技大会&アジアグランドマスターズ柔道大会出場
- クラブ・サークル活動18
- 紀伊国屋書店グランフロント大阪店でアロマ講座を開催
- フリー季刊誌『ここ+から(ここからPLUS)』創刊しました。
- 学務課から19
- 専門学校広報室から20
- 入試情報21

河内 明先生 自叙伝出版

第49回東洋医学と ペインクリニック研究会で特別講演

森ノ宮医療専門学校副校長 尾崎 朋文

専門学校鍼灸学科夜間部で教鞭を取っていただいている河内 明先生が、この春、長年勤められた大阪医科大学麻酔科を定年退職されました。

先生の業績を讃え、去る7月27日(土)、大阪医科大学臨床第1講堂において開催された第49回東洋医学とペインクリニック研究会にて「大阪医科大学麻酔科での38年間の診療を振り返って―臨床鍼灸の実践―」と題する特別講演会が催されました。

河内先生は、講演タイトルにもあるように、大阪医科大学麻酔科で38年間、鍼灸の臨床や研究と並行して、東洋医学とペインクリニック研究会の運営と、学術誌『東洋医学とペインクリニック』の編集発行に尽力されました。講演では、先生ご自身が師と仰ぐ故兵頭正義先生をはじめ素晴らしい先生方との交流、ご自身の臨床経験や研究について静かに飾らぬ言葉で語られ、医科大学でコメディカルとして鍼灸治療を定着することに尽力された先駆者の一人としての功績の大きさを改めて感じました。

研究会は、大阪医科大学で故兵頭正義先生が創められ、歴代の医学部教授に引き継がれるなかで、鍼灸師も積極的に研究レポートを携えて参加し、堂々とディスカッションする場として貴重な存在となりました。現在、本学園教員も河内先生を介して同大学麻酔科実習生となり、また研究会の運営にも微力ながら携わるなど研鑽を積んでいます。先生には、これからも後進の指導をお願いするとともに、礎を築かれた研究会が西洋医学と鍼灸を繋ぐものとして今後も発展することを祈念しています。



第49回東洋医学と
ペインクリニック研究会会場にて。



口絵に掲載されたご自宅の佇まい。

心とからだに優しい鍼灸療法

退官を機に河内 明先生がご自身の鍼灸人生を1冊にまとめられました。貴重な鍼灸の治療経験が症例をもとに記され、さらに先生の人生観(死生観)が穏やかに語られています。

※若干、森ノ宮医療学園出版部でお預かりしていますので、購読希望の方はご連絡ください。

第46回全国柔道整復学校協会柔道大会で女子3位入賞

専門学校柔道整復学科教員 笹田 岩生・入江 浩正



8月6日(火)、東京武道館において第46回公益社団法人全国柔道整復学校協会 柔道大会が行われました。今年も11名の学生(男子8名、女子3名)が本校代表の選手として、男子7人戦・女子3人戦の2部リーグに出場しました。

男子は、昨年の大会で3位に入賞した実績からシードされていましたが、主要メンバー2名が負傷したまま出場するという不利な状況の中、対戦相手の2校がかなりの強敵で、残念ながら2

戦とも敗れてしまい決勝リーグには進めませんでした。女子は新メンバーに高校での柔道部出身者を迎えながらも、補欠がない3人ギリギリの状態で試合に臨みました。予選リーグを順調に勝抜き、決勝リーグでも1試合目は見事に勝利し、2試合目の準決勝戦では今回の優勝チームと対戦することとなり、残念ながら勝つことはできませんでしたが、見事3位に入賞いたしました。

今年の選手は、昨年の同大会出場者が多いことから、その経験を生かし全員一丸となって試合に向けて稽古に励んできました。結果、チーム全体がよい雰囲気です。試合に臨むことができたと思います。来年もまた、よいチームで大会に参加できるように頑張っていきます。



全日本柔道形競技大会&アジアグランドマスターズ柔道大会出場

専門学校柔道整復学科教員 入江 浩正

12組中6位という結果に終わってしまいました。上位入賞者は、昨年の世界形柔道選手権大会優勝組やアジア柔道形選手権大会優勝組などで、まだまだ手の届きそうもない高い壁を感じました。

また、前日の22日(日)には、同会場にて第2回アジアグランドマスターズオープン柔道大会が行われ、前哨戦として形競技の部・固の形と投の形に参加しました。この大会は第10回日本マスターズ柔道大会も兼ねており、昨年同様に投の形には本校の奥野勝彦先生と私で出場し、昨年に続いて奥野先生は投の形で、私は固の形、投の形ともに優勝することができ、互いに2度目の優勝を讃え合いました。ほかに本学からは卒業生の矢根和紀さんも試合の部に出場されていました。

今回、全日本クラスのレベルの高さを実感して大会を終えましたが、これに懲りず、可能な限り精進して参りたいと思っています。皆さんもそれぞれの目標に向かって日々精進してください。



奥野勝彦先生(右)・入江(左)

9月23日(祝・月)に、東京の講道館において全日本柔道形競技大会が行われ、近畿代表として「固の形」*に出場いたしました。6月30日(日)開催の近畿柔道形競技会(兼、全日本予選)で優勝できたことで、私自身にとって今回が初めての全日本レベルでの大会出場でした。

さすがに、全日本競技大会ともなると各地区代表者のレベルも高く、私自身もかなりの稽古を積んで臨んだつもりでしたが、

*固の形は、投の形と共に「乱取の形」とも言われ、柔道の基本となる形の1つです。固技の理合いを理解・体得させるために、抑込技・絞技・関節技の各々から代表的な技を選んで構成されており、各技について、固め方の要点や応じ方などを学ぶものです。

中国伝統医学文化研究会

悠久の伝統医学をより深く理解するために

みどりの風鍼灸院・鍼灸学科教員 于 思

2002年6月、中国伝統医学文化研究会（中医研）は東洋医学（中医学を含む）をより深く学びたいという学生たちの声に応じて設立し、今年で11年目を迎えました。現在、10名で活動しています。

活動内容は、放課後、授業の理解をさらに深められるよう、東洋医学の悠久な歴史や文化的背景にも焦点を当て、また実例を交えて証病の捉え方や治療法を検討しています。講義方式ですが、授業とはまた違って、和気あいあいの雰囲気の中、活発に質疑応答を展開しています。

高齢化、食生活の欧米化等により生じる健康上の諸問題に対して、西洋医学の限界から予防医学や養生法などが叫ばれるなか、ますます伝統医学（中医学）への関心と需要が高まっています。共に東洋医学を学



ぼうという方、まず見学からでもOKです。顧問の于までご連絡をお願いします。

活動日 毎週または隔週の木曜日
時間 午後4時30分～5時30分
場所 森ノ宮医療学園専門学校306号教室

紀伊国屋書店グランフロント大阪店でアロマ講座を開催

出版部 織田 浩子

この春オープンしたグランフロント大阪。南館6階にある紀伊国屋書店で、9月27日、森美侑紀先生によるアロマ講座「秋の香りのmyルームスプレーを作ろう」を開催しました。平日の午後にもかかわらず、4回で合計80名が参加。たどよう芳香にひきつけられ、楽しい雰囲気に吸い寄せられて、飛び入り参加される方も多々ありました。

精油に関する知識やアロマクラフトを作った経験はまだない方が多く、トップノート・ミドルノート・ラストノートと3種類の精油をブレンドして自作した初めてのアロマスプレーを不思議そうな面持ちで試されていました。参加者の年齢層は幅広く、男性の姿も毎回数名ずつ見受けられました。



会場では講師の著書『もっと身近にアロマセラピー メディカルから日常まで』を販売。アロマの魅力に目覚めた参加者は、57のアロマレシピが紹介されているこの書籍を購入していました。

フリー季刊誌『ここ+から(ここからPLUS)』創刊しました。

鍼灸・柔道整復の事を一般の方に広く知ってもらい、一人でも多くの方に興味をもっていただくことを目的としたフリー冊子です。

巻頭特集の「ひとあるき、まちさんぽ」で

は、毎回、特集する地域を選び直接取材。その街で出会った人やお店、名所旧跡を取り上げ紹介しています。創刊号は、「森ノ宮～緑橋」、日ごろお世話になっている地域の皆様へのご恩返しのお気持ちも込めました。その他、自宅でできる簡単ストレッチ、ツボのお話し、アロマクラフトの紹介やコラム、世界に類を見ない「はりきゅうミュージアム」のコレクションの紹介など、森ノ宮ならではの、本校教員ならではの、情報を満載しています。



学務課から

1 就職・アルバイトについて

就職やアルバイトに関するご相談は、学務課で受付けております。在校中はもちろんのこと、卒業後の転職もサポートしています。有効求人数は常時300件以上、鍼灸整骨院のほかクリニックや病院、デイサービスなどからも求人があり、来校しての就職相談も可能です。すべてWeb求人検索システム『けんさくくん』で閲覧することもできます。就職相談、『けんさくくん』の利用をご希望の方は、学務課までお問合せください。

2 卒業後の日本学生支援機構奨学金の手続きについて

在学中、日本学生支援機構奨学金を受けていた皆さんは、卒業後平成25年10月より奨学金の返還が始まります。返還の手続きにあたっては、特に以下のことに留意して下さい。なお、手続きに必要な願出用紙は、返還説明会時にお渡しした「返還のてびき」、もしくは、日本学生支援機構のホームページに記載されています。

1 住所・氏名・勤務先等が変わったら…

「転居・改氏名・勤務先(変更)届」を必ず日本学生支援機構へ提出してください。

届出がない場合、日本学生支援機構からの重要な通知が届かなくなります。それにより、延滞状態となり、結果として、個人情報情報機関に個人情報が登録(※)されることにもなります。

※個人情報情報機関に、登録されるとクレジットカードの使用や、ローン等の利用が制限される場合があります。

2 返還が困難になったら…

速やかに日本学生支援機構に連絡をしてください。災害、傷病、失業、経済困難等の事例により奨学金の返還期限が猶予されることがあります。

3 進学したら…

大学・大学院・専門学校などに進学した場合、入学した学校に「在学届」を提出することにより在学中は返還期限が猶予されます。例えば、本校の鍼灸学科を卒業→本校の柔道整復学科へ入学した場合も猶予されます。またこの場合、再度奨学金を申し込むこともできます。進学先の指示に従い手続きをしてください。

3 厚生労働省 委託事業「学生のための労働契約解説セミナー2013」

現在就業されている、今後就職を希望される学生・卒業生の皆様を対象として、雇用する側(使用者)と雇用される側(労働者)をつなぐルールである“労働契約”について、基本的な事項をわかりやすく解説するセミナーを開催します。

“労働契約”の基本的なルールを知っておくことは、入社後のみならず、内定段階におけるトラブルを防ぐためにも重要です。ぜひ、この機会をご利用ください。

開催日時 2013年12月19日(木)

16:20～17:50
(受付開始 15:50)

会場 森ノ宮医療学園専門学校106教室

会 場 50名 参加費無料 ※先着順

定 員 在校生は2階教務カウンター申込用紙に記入してください。
申 込 卒業生は電話(06-6976-6889 学務課)にてお申込ください。



4 学務課ブログのご案内

学務課ブログでは、就職、奨学金、学校行事、セミナー等のご案内、学校生活でのプチ情報なども随時掲載していますので、ぜひご覧ください。

<http://www.morinomiya.ac.jp/blog/sien/>

※その他ご不明点がございましたら、森ノ宮医療学園専門学校 学務課まで
TEL.06-6976-6889 FAX.06-6973-3133
森ノ宮医療学園専門学校ホームページ <http://www.morinomiya.ac.jp/>



学務課の日常 — 学務課

室伏由佳さん特別講演&トークショーを開催



9月1日(日)、森ノ宮医療学園専門学校PRESENTS SPECIAL OPEN CAMPUSと題し、円盤投げ、ハンマー投げの日本記録保持者で元アテネ五輪ハンマー投げ代表の室伏由佳さんをお迎えし、「アスリートにとってのトレーナーとは～夢を叶えるために～」というテーマでの特別講演会を開催いたしました。

物心がついた時から陸上競技の環境の中にあった室伏さんは、父・重信氏、兄・広治氏の影響を受け、高校で円盤投げを始め、大学4年生の時にハンマー投げを始められました。ハンマー投げは囲いの中から狭い角度に投げなければならないので、頭で考え、動作を反射化して体が動くようにしていく、つまり無意識化することが必要なのだそうです。

数々のご活躍をされてきた裏側で、2004年のアテネ五輪を目指す頃よりスポーツ障害とのつきあいが始まったそうで、当時はトレーナーがいなかったのですまざまな症状に対して何をどうしていいのかわからなかったそうです。その後、婦人科疾患の手術後の体調管理に鍼灸を始められ、冷え症やむくみに対処さ

れたとのことでした。

後半は、本校鍼灸学科教員でアスレティックトレーナーの松下先生とのトークショーがあり、スポーツトレーナーに求められるものとして、

- ①多角的におこっている現象の根本的な原因を見つける。
- ②専門的な治療を必要とする場合もあるので、ドクターとのつながりを持っておく。
- ③相手の気持ちになって心に寄り添うケアができる。

の3点をあげられ、「選手の羅針盤」になることが必要であると述べられました。

室伏さんには本当に貴重なお話を聞かせていただきましてありがとうございました。(浅井行夫)



一般公開講座「ツボ講座」開催

9月18日(水)、ツボ講座「眼精疲労を緩和しよう!」を開催しました。

鍼灸学科教員の櫛引先生より、眼精疲労が起こる要因を講義していただき、温灸を使って目の周りの眼精疲労に効くツボをマッサージ。最後は、曲池・三陰交にアロマ灸を据えリラックス。仕事終わりに参加いただいた皆さんに好評でした。

本年度のツボ講座は全7回(6月より12月まで毎月1回)鍼灸学科の教員が毎回テーマを変え開催いたします。

(鍋木健洋)

パフォーマンス向上のためのスポーツセミナー コアトレーニング2を開催

8月3日(土)14時より、一般公開講座「パフォーマンス向上のためのスポーツセミナー コアトレーニング2」を開催しました。

前半は、柔道整復学科非常勤講師の馬場裕介先生より体幹についての講義をしていただきました。

後半は、柔道場に場所を移動して、柔道整復学科教員の朝倉智仁先生、非常勤講師の馬場裕介先生、石田春香先生より、姿勢と重心のチェックや体幹トレーニングの様々な方法を指導していただきました。

今後も、スポーツセミナーを開催していく予定です。

(永岡憲蔵)



入試情報

1 『入学金減免制度』…始まる ～森ノ宮医療学園校友会会員の推薦による入学者～

森ノ宮医療学園(専門・大学)の在校生・卒業生のご推薦による入学者への『入学金減免制度』という新たな制度が始まりました。皆様のご推薦書を添えていただくことにより、入学金を半額とさせていただく入学金の減免制度です。この入学金減免制度をご活用していただくことで、昨今の厳しい経済状況のなかでも、安心して「森ノ宮」にご入学いただきたいと存じます。志高く、熱い情熱を持った方々のご推薦をどうぞ宜しくお願い申し上げます。なお、推薦書は「入試ガイド2014」をご使用、または推薦書を森ノ宮医療学園専門学校の入試事務室までご請求ください。

※専門学校での制度です。

2 学内推薦入試…追加日程のお知らせ

受験料が
無料

試験は
面接のみ

入学金は
免除

森ノ宮医療学園(専門・大学)の在校生、卒業生で、鍼灸学科・柔道整復学科のいずれかに、進学を志望される方のための学内推薦入試を皆様のご要望にお応えし下記の日程で追加実施します。

第2回

学内推薦入試期間 ● 12月 9日(月)～12月 13日(金)
出願期間 ● 12月 2日(月)～12月 5日(木)

第3回

学内推薦入試期間 ● 3月 3日(月)～ 3月 7日(金)
出願期間 ● 2月24日(月)～ 2月27日(木)

第2回、第3回の学内推薦入試専用願書は下記までご請求ください。

学校法人森ノ宮医療学園 森ノ宮医療学園専門学校 入試事務室
〒537-0022 大阪市東成区中本4-1-8
TEL:06-6976-6889 FAX:06-6973-3133

卒業生、在校生の皆さんに
今一度お伝えしたいことが
あります。



3 文化祭見学会・個別相談会とオープンキャンパス開催のお知らせ

11月2日(土)の文化祭で、本校へ進学希望をされている方を対象とした文化祭見学会と個別相談会を開催いたします。参加者には、文化祭で模擬店やイベントを体験していただき、本校の雰囲気を感じていただいた後は、個別相談会を行い進学に対する悩みや疑問点を解消していただきます。

11月3日(日・祝)には、午前と午後の二部制でオープンキャンパスを開催いたします。参加者には、各学科に分かれて体験授業を受けていただき、キャンパスツアーで校内を巡っていただきます。その後、卒業後の就職状況や奨学金の説明を経て、教職員との個別相談・学生スタッフとのランチタイム/ティータイムでは、気軽に質問をしていただくことができます。

本校へ進学を考えられている方がいらっしゃいましたら、ぜひ参加いただくようお声掛けください。



みどりの風 クリニック だより



細澤由美子さん退職、そしてこれから

みどりの風クリニック院長 宮崎 義雄

みどりの風クリニックも東成区の病院や診療所、近隣機関病院との連携も広がり、地域の医療にお役に立てるようになってきました。

さて、8月に看護師の細澤由美子さんがみどりの風クリニックをご退職されました。細澤さんは附属診療所に約25年勤務され、診療所の歴史をすべて知り尽くした看護師さんでした。私自身も細澤さんからは多くのことを学ばせていただき、本当に感謝しています。これからは第二の人生に向けて鋭気を蓄え、ヒョウ柄の服を着て思いっきり人生をエンジョイしていただきたいと思います。長い間本当にご苦労さまでした。

細澤さんが退職されたことで、みどりの風クリニックには現クリニックに改名・移転する前の附属診療所の歴史を知るスタッフが一人もいなくなっていました。残念なことではありますが、これからは今のスタッフでこれまでの附属診療所の歴史に負けない、みどりの風クリニックの新しい歴史を築いていけるよう頑張っていきたいと思います。みなさまよろしく願いいたします。



西池和人選手(法政大学・陸上)と看護師さん(細澤さんは左下)。

「登録販売者」の資格をとり、漢方を使ってみませんか

みどりの風クリニック漢方内科 新谷 卓弘

柔整師や鍼灸師のライセンスをとられた方も多くおられる「登録販売者(各都道府県知事が認めた資格)」。

第2類医薬品まで販売できる資格があります。中でも自由度の高い漢方薬を扱えるのが一番の魅力です。

薬剤師や登録販売者の管理の下、1年以上かつ毎月80時間以上、一般用医薬品を扱った実績があり、各都道府県で毎年実施される「登録販売者試験」に合格すれば、店舗販売も可能となります。

現在、登録販売者の資格をとられた方々を対象として、漢方薬を安全に、しかも適切に使用していただけるよう、富山大学医学部と漢方診療学講座(小生が在籍した医局)出身の4名の講師を中心として3年連続の講習会を実施しています。ご関心のある先生は全国柔整鍼灸協同組合(TEL 06-6315-5550)までご一報ください。

治療室におすすめBook

森ノ宮医療大学附属図書館 司書 井上 洋子

『永遠の0』

百田尚樹著／講談社文庫
920円(税抜き)



素晴らしい文字の力

2006年の初版発売以来、じわじわと発行部数を伸ばし、2009年に文庫化されてからも衰えることを知らない大ベストセラーを、せめて映画が公開される前に読んでおこうと手にとったのはつい最近のこと。正直あまり期待せずに読み始めたのですが、ドラマチックな展開とぐいぐいと引き込む筆力に圧倒されました。戦争に行った人も行かなかった人も、戦後生まれも、この小説を読んだ多くの方が心臓をわしづかみにされたような感覚に陥ったのではないのでしょうか。もちろんフィクションなのはわかっていても、あの時代にこのような人間がいてほしかったと思う人は多いはずです。普段小説を全く読まない90歳の知人にこの本を進めたところ1週間で読破したうえに、「面白かったから『海賊とよばれた男』も買って読んでいる」と言わしめ、改めて文字の力って素晴らしいと思いました。

INFORMATION

治療室におすすめCD

森ノ宮医療大学大学院教授 永瀬 佳孝

『4ウェイ・ストリート：クロスビー、スティルス、ナッシュ&ヤング』

レーベル ● ワーナーミュージック・ジャパン
収録時間 ● 109 分 ASIN ● B0009EP07K



個性が響きあって自分らしさを作っていく

大きなおもちゃ箱があった。兄弟4人分のおもちゃやがらくたを詰め込んでいた。隅に掃除機のホースのような筒がつっこんであり、真ん中の深いところにビニールの編み目が見えた。それは果物の籠で、持ち手のところで閉じるとサンダーバード5号のような形をしていた。筒の中にビー玉を入れて箱を揺すってみた。当然、何も起こらなかった。でも、何回か同じことをやってみると、籠の中にビー玉が入ってきたのである。その後、何度同じことをしても籠の中にビー玉は入らなかった。大学生になって講義を受けると、ほとんどの大学の先生は教科書を使わなかった。大学生も、教科書を読まれるくらいなら家でそれを読んでいたほうが効率がよいと考えていた。学問の背景や考え方の異なる専門家の話を聴いて、試行錯誤しながら自分の考え方を作っていく、そういう姿勢は大学生に自然に身についていたと思う。おもちゃ箱の中に、筒と籠以外は同じおもちゃだけならビー玉は籠の中に入らなかっただろう。壊れた人形やがらくたも必要だったのである。

クロスビー、スティルス、ナッシュ&ヤングは、個性の強い4人からなる。聴く人によって好みがあるが、グループでの演奏を聴くと、それぞれ影響し合っているのがわかる。難しくてわからない講義もあるだろう。逆に簡単すぎるものも。でも、できるだけ多くのものから自分のものを作っ てほしいと思う。

森ノ宮医療学園出版部 書籍のご案内

季刊誌「鍼灸OSAKA」110号
特集「鍼灸とコンセプトデザイン」
B5判114ページ 2,039円(税込・送料別)

主観的に語られがちな鍼灸を、「臨床研究」「治療と慰安」「患者さんとのコミュニケーションリスク」「地域医療」「海外への情報発信」「学会・業界団体」「信念対立解明アプローチ」などのテーマから客観的に捉える試みです。変化しつつある日本の医療のなかに近未来の鍼灸師像を描くヒントを求めて特集しました。



12月上旬発行予定
111号の特集は「お灸の再生」(仮題)
B5判120ページ 2,039円(税込・送料別)

もぐさをひねったり、据えたりといったお灸の実習のない学校があると聞いたのは数年前。今や、施灸をしない治療院も多いと言われている。一方、海外ではお灸がクローズアップされてきた…。日本ではお灸は医療としての役目を終えているのか? それに異議申し立てをするつもりでお灸を特集することにしました。

みどりの風鍼灸院

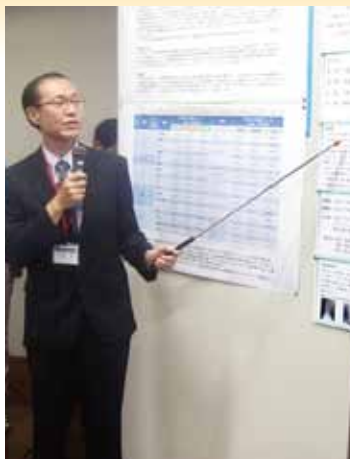
成田 真和

去る6月7日(金)～9日(日)、今年の猛暑を予感させる日差しに見舞われた3日間、福岡県福岡市アクロス福岡において、第62回全日本鍼灸学会学術大会「触れる鍼灸一からだに、ここに」が開催されました。

みどりの風鍼灸院からは中島茂院長を始め、于 思、菊谷敏士、成田真和の鍼灸師全員が参加し、自分達の発表の合間に各人思い思いに講演を拝聴して参りました。

今回の鍼灸院の発表演題は、「腰背部痛に対する鍼灸治療の1症例ーサックス演奏家が訴えた症例」と題し、楽器を演奏する姿勢や音を出す過程で、どのように身体に負担が掛かるか、また同種類の楽器でも大きさによって変わる症状等について研究したものです。

今回の発表を契機にみどりの風鍼灸院では、今後音楽演奏家が訴える症状に対する鍼灸治療の集積を続け、鍼灸治療の有用性のエビデンスを検討していきたいと考えております。



『健康で知的なからだをつくる51のレッスン～からだの気づきで脳が変わるフェルデンクライスメソッド～』

フランク・ワイルドマン著/藤井里佳訳
181頁 2,625円(税込)

私たちは無意識にからだを動かしています。その時、脳はどうしているでしょう? 生まれたての赤ちゃんは自分のからだの動かし方を脳との連動で一つひとつ学んでゆきます。本書は、そのからだに気づかせる感覚を取り戻すためのレッスンのなかから51を紹介。欧米では発達障害等の治療でスタンダードなメソッドです。



『はりきゅうロード～日本全国、伝統医療の歴史を見て歩こう』

森ノ宮医療学園出版部編
168頁 2,730円(税込)

歴史から現代が見えてくる一。史跡や現存する史料、民間に伝承されている祭りや行事には実に多くのことが伝えられています。医療の歴史の奥深さと時代の伊吹、医聖の熱意を感じてください。第一線で活躍されている研究者によるエッセイは良きガイドとなってくれます。



『生きているとは～看護の本質とこれからの看護』

薄井坦子著 38頁 525円(税込)

23年6月、森ノ宮医療大学看護学科開設記念講演会での薄井坦子先生の講演内容を1冊にまとめた。看護師教育に尽力しつつ、「看護とはなにか」を追求されてきた薄井先生ならではの言葉は、看護論にとどまらず、深く生命観や人間論に及んでいます。東洋医学を志す方々へも示唆に富む内容です。

